2026/11/1
競技監督

公式通知 No.3-1

ライダーズブリーフィング資料

1.コースイン・ピットイン時の注意

1) コースインの際、コース中央に引かれている白線を越えてはならず、2コーナー過ぎまで右端走行すること。
2) ピットレーンの制限速度は**60km/h**とする。 ※違反した場合は罰則を科す。
3) ピットインするライダーは130R手前からコース右端を走行し、**手を挙げるなどして後方に十分アピールした上で、安全を確認してピットインすること。**
4) **車ショートカットの使用は認めない。**

2. フラッグ等について

ライダーは掲示されるフラッグ・ライトパネルを確認する義務がある。違反した場合は罰則を科す。
ストレート上でもフラッグやボードの見落としがないように注意すること。

3. 公式予選について

1) 予選方式は計時予選とする。
2) コースインは各ピットより可能とする。

4.決勝レースについて

1) スタート方式は、MFJ国内競技規則付則4-18および2026鈴鹿サンデーロードレース特別規則書第25条に基づく。
2) ウェット宣言時は決勝周回数を2周減算し、リアセーフティライトの点灯を義務付ける。
3) 今大会のウォームアップラップは1周とする。

5. スタートについて

1) スターティンググリッド位置は、各自の責任をもって確実に把握すること。
誤ったグリッドにつき、自力で正規のグリッドに戻れないときにはスタートディレイドとする場合がある。
2) レッドライトが消灯された後で、エンジンがストールした場合、**オフィシャルの指示があった時点でエンジン始動を試みる行為をせず、モーターサイクルにまたがったままの状態で、腕を上げ後続車両にアピールしなければならない。**
指示に従って速やかにマシンをピット作業エリアに押して行かなければならない。
【MFJ国内競技規則 **付則4 18-4-10-3**】
セルスターターが装着されている車両の場合でも、エンジン始動出来ない場合は同様の扱いとする。
3) ピット作業エリアでは当該ライダーのメカニックがエンジンを始動させるために援助することが許可され、ピットスタートとなる。
4) スタートディレイ時の対応は、MFJ国内競技規則4-18-4-11に基づく。
5) スタート違反と判断された場合、**ライドスルーペナルティー**が科される。ペナルティーは「RIDE THROUGH」の文字の下に車両ナンバーを付した一体型ボードが**コントロールラインのフラッグ台(0P) 、バックストレート(14.5P)にてライダーに提示される。**また、罰則の通知は当該ライダーのチームにもボードにて通達する。
最終周回等レース終了までに罰則が消化できない場合は、レース結果にタイム加算される場合もある。

公式通知 No.3-2

6.赤旗中断されたレースの再スタートについて

競技結果が2/3未満の場合の再スタートは、MFJ国内競技規則 付則4-25に基づく

7. 決勝レース終了後

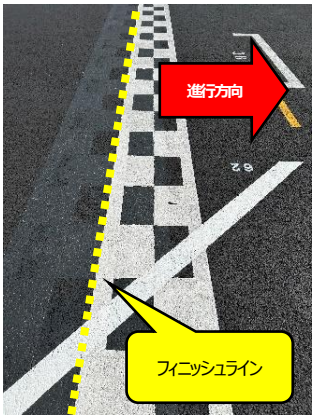
1) 上位ライダーは車両保管を行う。
2) 車両保管場所の車検場までオフィシャルが誘導する。

8.使用燃料について

1) 各銘柄のガソリンを混ぜて使用してはならない。
2) **前回使用したガソリンが混ざることのないよう注意すること。**

9.フィニッシュラインについて

鈴鹿サーキット レーシングコースにおける
コントロールライン/フィニッシュラインは右図に示す基準線とする。



10.走行にあたっての注意事項―下記項目について確認・徹底をすること。

1) MFJ国内競技規則 付則3「サーキット走行に関する規制」の内容を遵守し、走行すること。
2) 他の車両を追い越す際は、接触のないようにすること。
   基本的にレコードラインを走行する者に優先権があり、抜く側は追い越しのリスクを認識しておくこと。
   ①追い越した後、レコードラインに戻る際は、抜いた車両のスペースを意識しておくこと。
   ②走行ラインを譲る際は、追突事故の原因となる為、急なライン変更や、急減速をしないこと。
3) 転倒等により走行前にドクターチェックを義務付けられたライダーは、時間内に必ずチェックを受けること。
   特に脳震盪症状があったライダーは競技復帰最初の走行前に必ず受けること。
   ドクターチェックで出走不可と判断されたライダーは、リタイア扱いとなる。
4) **特に、チェッカー後に接触・追突する事象が発生しているため、チェッカーを受けた直後は、急激なスローダウンや進路変更をしないこと。**また、ダブルチェッカーにも十分注意すること。

11.その他

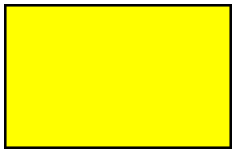
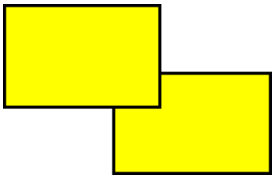
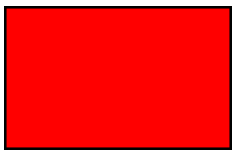
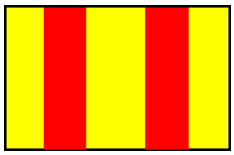
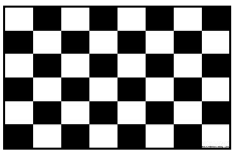
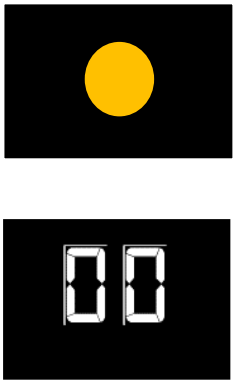
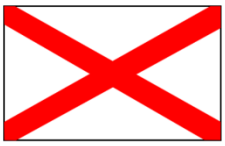
1) 【決勝レースへのマーキング部品変更期限】
   変更申請期限　… 当該クラスの公式予選終了後1時間以内　※期限以降の変更は不可とする。
   再車検期限　… タイムテーブルで定められた当該クラスのサイティングラップ開始30分前
2) ウェイティングの資格を有する者は、決勝レース出場願い書（嘆願書）を提出した者の中で**総合予選結果での上位3名まで**とする。なお、提出期限は、**暫定予選結果表が発表されてから30分以内**とする。
3) 近年、パドック内での事故が多く発生しており、二輪車（ﾊﾞｲｸ・ｽｸｰﾀｰ等含む）を使用する場合は歩行者に注意し、ヘルメットを着用の上、徐行して走行すること。
4) 脳震盪について
   脳震盪は頭部への直接または間接的な衝撃によって起こる脳機能障害のこと言う。特に短期間に二度の脳震盪を起こすことは非常に重大な障害をもたらす恐れがあり、また、症状を抱えたまま走行することは他のライダーに危険を及ぼす恐れがあるため、脳震盪が疑われる場合、医療機関で受診すること。

公式通知 No.3-3

5) 転倒もしくは負傷したライダーは、迅速かつ的確なレスキュー活動の為に、**メディカルパスポートをいつでも提出できるよう準備しておくこと。**

・参考資料

フラッグ/ライトパネルについて

	**【黄旗 1 本】** **振動表示** 表示ポスト前方でトラブルが発生。 減速し、緑旗提示ポストまで追い越し禁止。		**【黄旗 2 本】** **振動表示** 表示ポスト前方コース上にトラブルが発生。減速し、緑旗提示ポストまで追い越し禁止。
	**【赤旗】** 走行中断。減速し、ピットに戻らなければならない。		**【オイル旗】** コース上が滑りやすい状態の時、提示される。（オイル漏れ、落下物なども含む。）
	**【チェッカー】** 走行終了。速度を落とし、その周でピットインをすること。 先頭でチェッカーを受けた車両が通過するタイミングで**コントロールラインのフラッグ台(OP)及びインフォメーションパネル(スタートライン上)の計 2 箇所**でチェッカーを提示。 **ダブルチェッカー防止のため、ストレート走行中でも必ずフラッグ台を確認し、見落とさないこと。** ※チェッカーフラッグ提示後、各ポストで黄旗が静止表示される。		**【ｵﾚﾝｼﾞﾎﾞｰﾙ＋ｾﾞｯｹﾝﾎﾞｰﾄﾞ】** **ピットまで戻らず速やかにコースアウトし、最寄りの安全な場所に車両を止めること。** ※大量のオイル漏れ等、危険を及ぼす恐れのある競技車両が発見された場合、即当該ライダーに警告するため、旗のみ表示を行う場合がある。
	**【白旗】** 救急車等の介入車両があり、この介入車両を追い越すまで他のライダーを追い越す事は禁止される。		**【黒旗＋ゼッケンボード】** 当該車両は直ちにピットに戻り、オフィシャルの指示を受けること。
	**【青旗】※フラッグのみ提示** 後方よりペースの速い車両が接近し、追い越される場合に振動表示にて提示される。決勝レース時、コントロールラインのフラッグ台(OP)にて、**チェッカー旗と同時に提示された場合、トップのライダーにはレース終了を伝え、トップの直前を走行しているライダーにはもう 1 周する事を伝える。**		**【レッドクロス】** コース上の表示ポスト付近において、雨が降り始めたことを示す。 この雨が路面状況に影響を及ぼしている可能性がある。

ライトパネル表示例

